

令和7年度学校教育自己診断 回答結果

令和7年11月、生徒、保護者、教職員へ学校教育自己診断を実施した。
35問の質問項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「まったくあてはまらない」の4段階の回答を求めた。回答で「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と回答したものについて肯定率としている。
今年度は「判断できない、わからない」の項目を外したため、昨年度との比較が難しく、肯定率が高い項目、低い項目を挙げることとする。

1) 生徒の回答結果

質問の14項目で90%以上、13項目で80%以上の肯定率を示した。

特に以下の項目は昨年度と比較し、上昇ポイントが高かった。

【生徒指導】

○学校は、いじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる…
86.6% (33.0ポイント上昇)

【共生推進教室】

○学校は、障がいがある生徒とともに学ぶ取組に熱心である…86.6% (24.3ポイント上昇)

【教育相談】

○学校では個人情報や先生に相談した内容などの秘密が守られている…
91.8% (22.0ポイント上昇)

2) 保護者の回答結果

質問の2項目で90%以上、12項目で80%以上の肯定率を示した。

特に以下の項目は昨年度と比較し、上昇ポイントが高かった。

【地域連携】

○学校は地域と連携した活動に取り組んでいる…86.0% (36.9ポイント上昇)

【生徒指導】

○学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる…68.5% (32.4ポイント上昇)

【教育相談】

○学校では個人情報や先生に相談した内容などの秘密が守られている…91.8%
(22.0ポイント上昇)

3) 教職員の回答結果

質問の21項目で90%以上、6項目で80%以上の肯定率を示した。

特に以下の項目は肯定率が低かった。それ以外の項目はすべて肯定率が高く、今後、学校経営について検討していく必要がある。

【学校経営】

○校長は学校運営にリーダーシップを発揮し、自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている…50.5%

○教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある…59.1%

○職員会議をはじめ各種会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している…68.2%

【自主活動】

○部活動の活性化について工夫している…63.6%